

ご挨拶

歴史を分けるクリエイター・オブ・ザ・イヤーは誰だ。

2020年は、クリエイティブの年表にどう刻まれるだろう。

パラダイムシフト。

ニーズが蒸発した年。

DX志向への瞬間移動。

ブランドパーパス再定義の急進。

コモディティ化からの脱出。

役割をみつけたクリエイターは、

大きくフィールドを拡張、難題を解決している。

だから、クリエイターのスキルを

求めるセクションもさらに、ふえた。

2020年という新たな年に

「もっとも優れたクリエイティブワークを実施した個人」

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の募集です。

未来をつくるクリエイターとの出会いを心待ちにしています。

一般社団法人 日本広告業協会
クリエイティブ委員会 委員長
能登 健裕